

M&Aフォーカス・ファンド

追加型投信／国内／株式

満期償還 第30期 2021年4月20日償還
作成対象期間 (2020年10月21日～2021年4月20日)

第30期末（償還日 2021年4月20日）	
償還価額	12,456円42銭
純資産総額	1,804百万円
第30期	
騰落率	+17.6%
分配金	—

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「M&Aフォーカス・ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2021年4月20日をもって信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、主としてわが国の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

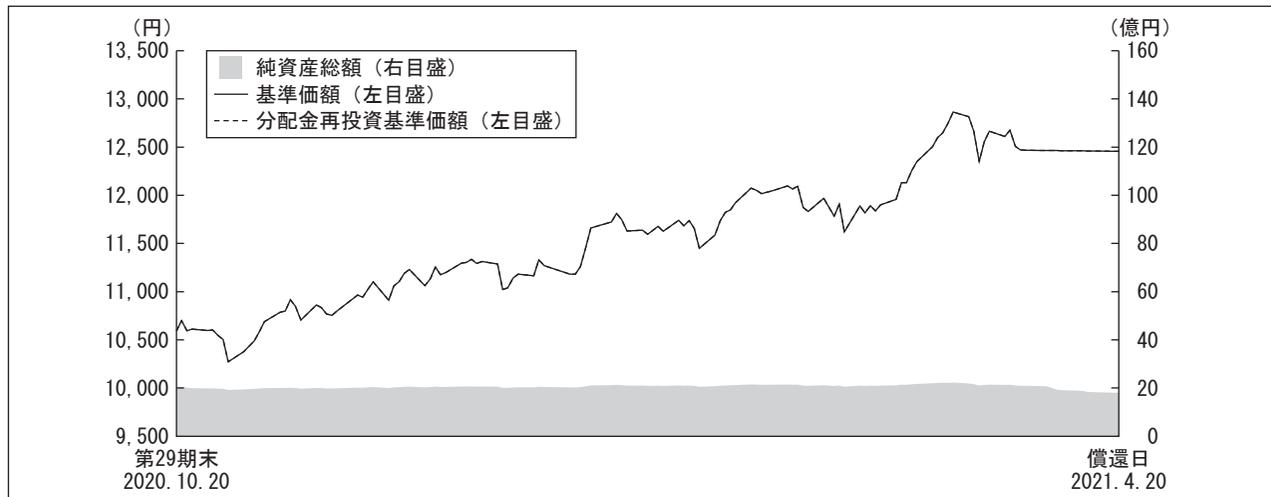


三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第30期首：10,591円

償還日：12,456円42銭（既払分配金 ー）

騰落率：+17.6%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

（上昇要因）

企業業績の改善や株主還元の拡充策などを背景に国内株式市場が堅調に推移したことや、割安なバリュエーション（投資価値評価）と良好な企業業績の見通しが評価されたこと、コーポレートガバナンス（企業統治）改革の浸透に伴い上場子会社の買収や売却が促進されたこと、景気先行指標の改善が続く景気敏感株を中心に上昇したことなどが要因となりました。

（下落要因）

国内での新型コロナウイルス感染症の再拡大により、景気回復に対する不透明感が高まったこと、原材料高を背景に輸出関連株を中心に業績見通しの不透明感が高まったこと、米中対立や貿易摩擦の激化懸念が高まったことなどが要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

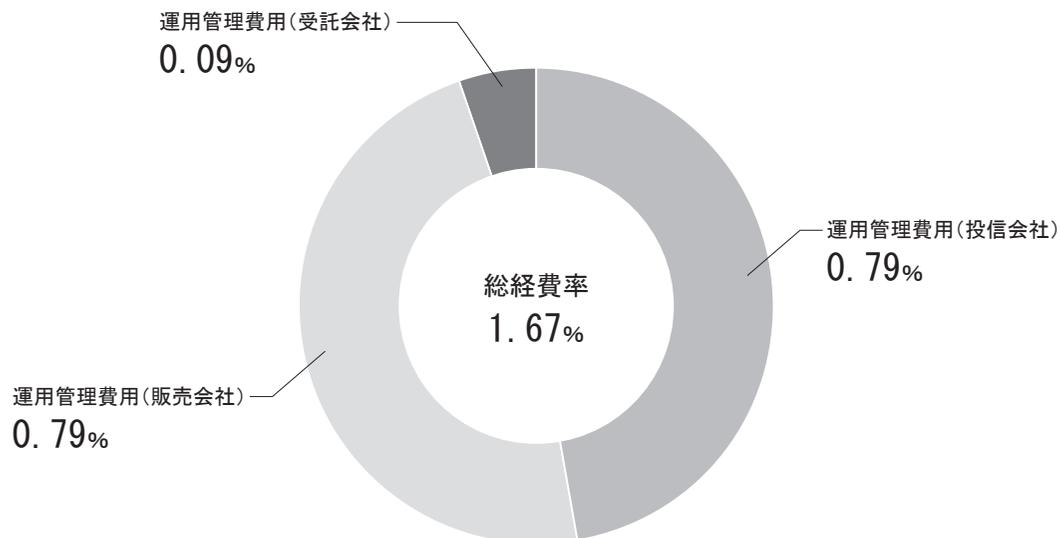
項目	当期		項目の概要
	2020年10月21日～2021年4月20日		
	金額	比率	
信託報酬	95円	0.834%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,338円です。
(投信会社)	(45)	(0.395)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(45)	(0.395)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	7	0.059	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(6)	(0.054)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
合計	101	0.892	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



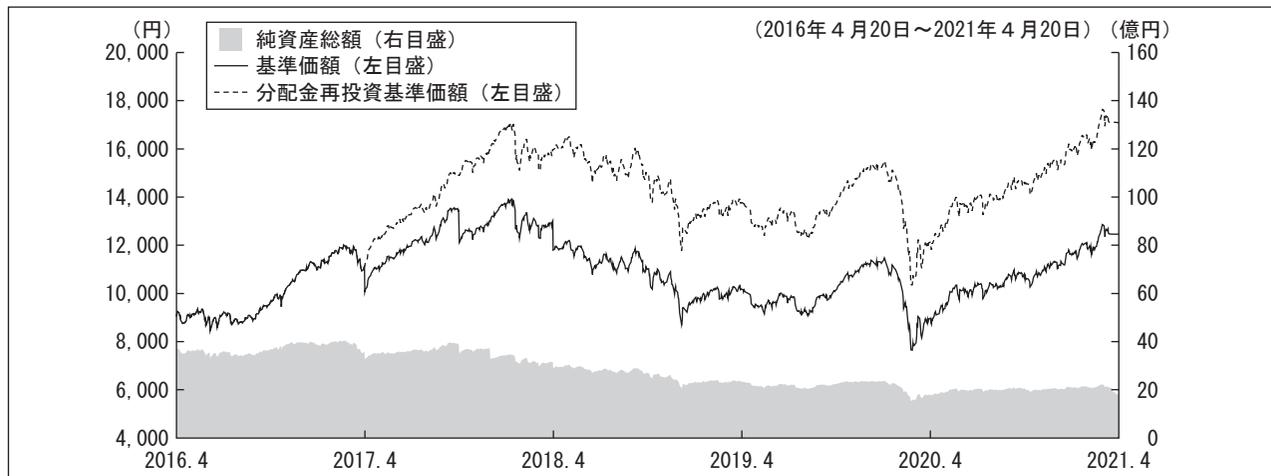
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.67%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、2016年4月20日の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年4月20日 期初	2017年4月20日 決算日	2018年4月20日 決算日	2019年4月22日 決算日	2020年4月20日 決算日	2021年4月20日 償還日
基準価額 (円)	9,051	10,064	11,799	10,166	8,965	12,456.42
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,100	2,500	0	0	150
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.3	43.0	△ 13.8	△ 11.8	40.9
TOPIX騰落率 (%)	—	7.8	18.9	△ 7.6	△ 11.5	34.5
純資産総額 (百万円)	3,623	3,243	2,887	2,335	1,799	1,804

*TOPIXは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

【投資環境】

期初は、米追加経済対策の早期成立への期待が後退したことや米大統領選挙を控え様子見姿勢となり、国内株式市場は軟調な値動きで始まりました。2020年11月、米大統領選挙を経て政治的安定や国際協調への回帰などが期待される中、上昇基調に転じました。2021年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や米長期金利の急上昇に伴い国内株式市場は下落する場面もありましたが、米国の追加経済対策やワクチン接種の加速方針を背景とした早期の景気回復に対する期待の高まりや国内製造業の業績見通しの上方修正が好感され、国内株式市場の上昇基調が続きました。

【ポートフォリオ】

株式の実質組入比率（株式現物と株価指数先物の買建の合計）は期を通じて概ね90%以上の高位に保ちました。

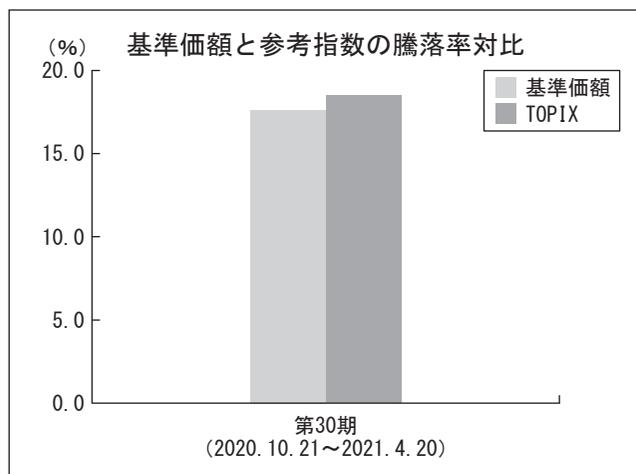
当ファンドでは、グループ再編の可能性の高さなどを見極め、国内市場で消耗戦を繰り返す構造が解消される見込みの高い業界や銘柄、買収魅力度（M&Aレシオ、PBR（株価純資産倍率）、企業業績などの定量的な魅力度に加え、業界での技術力、シェアやポジションなどの定性面）が高い銘柄に投資を行いました。また、企業グループの再編期待から関連子会社群を引き続き多く保有しました。

その後、2021年4月8日に保有株式をすべて売却してキャッシュ化を行い、2021年4月20日に満期償還いたしました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

分配金につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

お知らせ

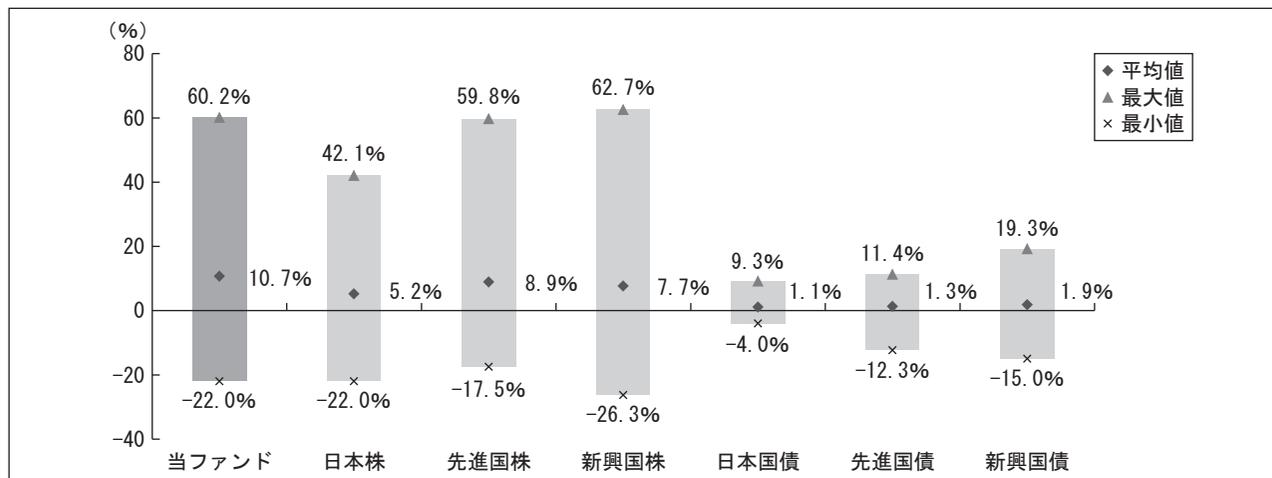
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2006年3月29日～2021年4月20日（約15年）
運用方針	主としてわが国の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	わが国の株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の証券取引所上場株式の中から、M&A（企業の合併・買収）価値の観点から魅力的な企業に選別投資を行います。 ・M&A価値評価は、財務面（財務的M&A評価）または戦略面（戦略的M&A評価）の観点により行います。
分配方針	<p>毎年4月、10月の20日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

(2016年4月～2021年3月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直前前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

【純資産等】

項目	償還時
	2021年4月20日
純資産総額	1,804,676,493円
受益権総口数	1,448,791,989口
1万口当り償還価額	12,456円42銭

*当期中における追加設定元本額は4,105,329円、同解約元本額は461,968,418円です。